



平成 28 年度 第 6 回理事会開催報告

平成 29 年 3 月 21 日 (火) 11:00 から郡山ものづくりインキュベーションセンターで、今年度第 6 回理事会を開催しました。滝田理事長他理事 7 名、監事 2 名の出席のもと、平成 28 年度補正予算や平成 29 年度事業計画・当初予算が審議され原案通り承認されました。

新年度も、ものづくり企業支援のために積極的な事業展開を図っていくことが議論されました。

一方、低金利情勢の影響から基本財産運用益が減少し、その代替財源として特定資産の一部取り崩しも審議され承認されました。



一般社団法人 日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門が開催

今回で 29 回目を迎える、日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門主催「ロボ・メカ講演会」が開催されます。計測・制御・解析・生産技術などの基礎研究から、医療・福祉・生体・産業・災害対応・宇宙など様々な応用研究まで、幅広くロボ・メカに関連する講演発表が行われます。

この講演会は、産学官の意見交換や交流の場を提供する大きな役割を担っており、全国の大学や研究機関、医業などから、毎年 2,000 名を超える皆様に参加します。

◇開催期間：平成 29 年 5 月 10 日 (水) ～13 日 (土)

※企業展示は、11 日 (木) ～12 日 (金) となります

◇開催会場：ビッグパレットふくしま

◇機器・カタログ展示出展数：64 ブース (予定)

◇スケジュール (ワークショップ・チュートリアル)

5 月 10 日 (水)

「インターネットを利用したロボットサービス講習会」など

5 月 12 日 (金) ～13 日 (土)

NEDO 特別講座「ロボットサービス・ビジネススクール」

- ・ユーザードリブンイノベーションとデザイン思考
- ・ハイブリッドドローンの開発と普及
- ・システム思考と用途開発
- ・ワークショップ：大阪工業大学工学部工学部空間デザイン学科 横山広充先生を講師に「ドローンを活用したサービスを考える」開催

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議・特別講演会 開催報告

地方から日本を変える～慶應鶴岡キャンパスの挑戦～

3 月 16 日 (木)、ホテルハマツを会場に郡山地域テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議・特別講演会「地方から日本を変える～慶應鶴岡キャンパスの挑戦～」をテーマに山形県鶴岡市にある慶應義塾大学先端生命科学研究所の富田勝所長をお招きし、ご講演いただきました。今回は、当形成会議初となる会員以外の方も参加できる講演会とし、定員 70 名のところ約 90 名のお申し込みがあり、多くの方にご参加いただきました。

富田所長は「本当のブレイクスルー (難関突破・打開策) は、最初は“ホラ”に聞こえるもの」「非難や失敗を恐れず、勇気を持って実行するイノベーターとなるのが重要」等、様々なベンチャー企業を輩出した富田所長ならではの考え方をお話しいただいたほか、鶴岡から生まれたベンチャー企業である「ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 (血液でうつ病診断)」「株式会社サリバテック (唾液でがん診断)」「株式会社メタジェン (腸内フローラ解析)」「スパイバー株式会社 (人工クモ糸合成)」等の創業過程等をお話しいただきました。

また、講演会終了後には、富田所長との名刺交換に長蛇の列をつくっていました。



講演いただいた富田勝所長



多くの方にご参加いただきました



会員からの質問も



講演会終了後には名刺交換に長蛇の列

ものづくりインキュベーションセンター 入居者募集のお知らせ

「インキュベーションセンター」は、大学等の知的資源や産業支援ネットワークを活用し、技術シーズの事業化を支援していく施設で、新製品の研究開発に取り組む企業などを対象に「起業支援室」の提供、「試作センター」の優先利用、さらにはインキュベーションマネージャー等による技術面・経営面でのアドバイスなど、研究開発から事業化まで一貫した起業支援を行っています。

現在、下記の通り、新規入居者を募集しています

- 対象者：主として製造業等を営む中小企業
- 期間：1年(更新審査を経て最長5年まで可)
- 募集中の起業支援室：No.9(事務室タイプ:15.0㎡)23,250円/月
- 問い合わせ先：
郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
〒963-1165 郡山市田村町徳定字中河原1番1
TEL：024-926-0344 FAX：024-943-4441

研究開発助成事業・地域技術起業化助成事業の公募を開始

当機構では、企業や共同研究グループの研究開発活動や新事業創出への取り組みを支援するため、各種助成制度を設けています。今回、研究開発助成及び地域技術起業化助成に対する公募を開始しましたのでお知らせします。

■研究開発助成事業

新技術または新製品の開発、生産工程の合理化または製品の高付加価値化、これらに類する技術の高度化に関する研究開発

●助成額 助成対象経費の3分の2(限度額 200万円)

■地域技術起業化助成事業

技術革新の進展に即応した技術を製品化・商品化するため、その実現に向けて必要な商品開発、情報収集、市場開拓などの事業

●助成額 助成対象経費の3分の2(限度額 300万円)

公募期限 平成29年5月31日(水)

公募要領等 詳しくは当機構ウェブサイトをご覧ください。

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 平成28年度 第4回ボードメンバー会議 開催報告

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会主催「第4回ボードメンバー会議」を、3月9日(木)午前10時30分から、郡山地域ものづくりインキュベーションセンター 会議室で開催しました。ボードメンバー9名に加え、郡山・須賀川両市から担当者も参加しました。

当機構の齋藤常務理事の挨拶、出席者自己紹介のあと、平成29年度事業計画についてご意見をいただき、ハッカソンの拡大開催、子供向け教育プログラミングの必修化への対応、新しいキーワードとして「ドローン」や「クラウドファンディング」を取り上げることなどが話し合われました。

また、次回からはオブザーバーとして金融機関からの出席もお願いするなどを決議して閉会しました。



齋藤常務理事 挨拶



意見交換の様子

積極的にものづくり企業を支援

東日本震災及び原子力災害から6年が経過し、産総研「福島再生可能エネルギー研究所」の開所を皮切りに、国際原子力機関、日本原子力研究開発機構、国立環境研究所と連携した「福島県環境創造センター」、国内初となる大型動物の飼育実験機能を備えた「ふくしま医療機器開発支援センター」と国内を代表する研究機関が次々に開所しています。

さらには、「工業団地の造成」「新駅の設定」「スマートインターチェンジの整備」等、インフラ・交通体系の整備も進められ、これまで以上に新事業・新産業創出に適し、「新生ふくしま」を牽引する地域として期待されています。

当機構の、設立原点は「ものづくり企業への支援を通じた福島県産業の振興」であります。平成29年度も企業を取り巻く外部環境の変化を見据え、大学等高等教育機関、産業支援機関、行政機関、金融機関等との連携により、ものづくり企業への支援を積極的に行ってまいります。

福島県では、商工業の振興に向け次世代を担う人材育成等とともに、再生可能エネルギー、医療機器、ロボット等の新産業の育成・集積を目指すこととしており、さらには、中小企業の航空宇宙産業への参入に向けた施策も展開することとされています。

こうした状況を踏まえ、これまで取り組んでいる「医療・福祉機器」や「再生可能エネルギー」等の重点分野を継続しつつ、「郡山地域ものづくりインキュベーションセンター」を拠点に、圏域企業の研究開発の促進、新事業の創出育成、技術の高度化やそれを担うものづくり人材の育成などに引き続き積極的に取り組んでまいります。

これら事業の実施にあたっては、当機構の強みである日本大学と連携したフォーラムの開催、企業間連携(アライアンス)の強化、さらには、昨年会津大学と郡山市、当機構の三者で締結した包括連携協定によるICTの推進などにより、ものづくり企業の支援のための効果的な事業を展開してまいりますので、関係の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

平成29年4月
公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構
常務理事 齋藤 隆

発行元 (公財)郡山地域テクノポリス推進機構/郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会
TEL 024-947-4400 FAX 024-947-4475 E-mail techno@nm.net6.or.jp
郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
TEL 024-926-0344 FAX 024-943-4441 E-mail monodukuri@nm.net6.or.jp

